

日前で検査員育成

コンクリート製品協組がセミナー

品質管理の均一化で

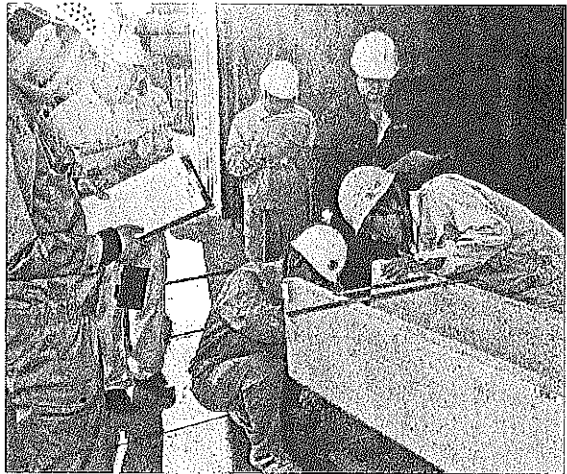
千葉県コンクリート製品協同組合(保美善和理事長)の技術委員会(花澤耕一委員長)の主催による「第8回試験・検査員養成セミナー」が6日、山武郡九十九里町の三洋コンクリート(株)の試験室で行われ、組合員



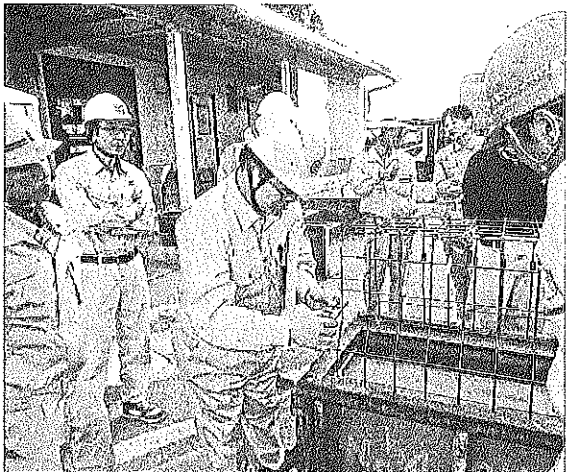
斎藤副理事長

18人が受講。今回の新規受講者は8人で、講習修了者の資格更新が10人。修了者には、組合から力量を証明する修了証(3年更新)を交付した。開講に先

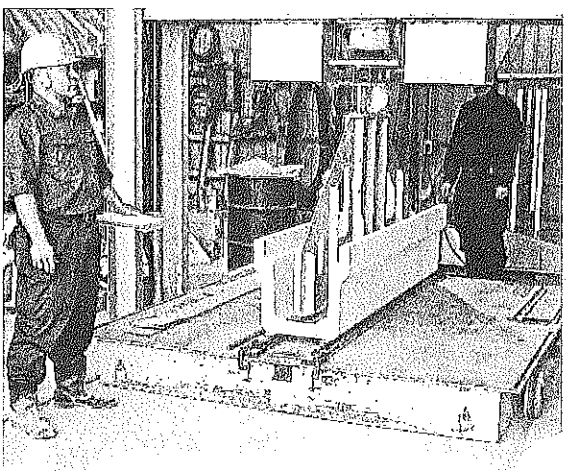
立ち、同組合副理事で同社代表取締役の斎藤寿夫氏は、品質管理の面で昨今、データの活用や改ざんなど



が社会問題化していることに言及。「千葉県のコンクリート製品の品質管理は『しっかりとやっている』と



いう姿勢を、今まで以上に示さなければならぬ」とした氏は、受講者に対して「みなさんは、それぞれの



工場で品質管理などの中核を担っている。今日はしっかりと勉強して充実した一日にしてみたい」と呼び

かけ、あいさつとした。

高品質維持と組合レベルアップ

同セミナーは、2005年10月の新JISへの移行に伴い、「JISQ17025適合性確認要領」や「プレキャストコンクリート製品の要求事項」や「5・2要員の定め」に対応するため、各工場で製品試験や検査に携わる要員の養成と力量アップに向けて、コンクリート製品の試験・検査の実施に必要な知識・技術・判断力を習得。さらに、各工場の品質管理の均一化

により高品質を維持し、組合全体のレベルアップを図ることが目的。講師は、同組合技術委員会の小松幹敬委員長が務めた。今回のセミナーは、座学による「JISQ17025」の試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項と、組合規格による検査の概要(検査項目、検査ロット、検査方法)に加え、実技として、①外観検査(ひび割れ、欠け、きず、トレモロ、気泡、反り、ねじれなど)②形状・寸法検査(各種寸法測定)③製品の曲げ強度試験(試験機)④鉄筋

位置(かぶり)の確認を3人1組で受講。セミナー受講者からは「他の工場での検査のやり方を見ることができ、参考になった」「しっかりとした手順を再確認することで勉強になった」などの声があがった。

- 【講師】
 ▼小松幹敬(千葉県コンクリート製品協同組合技術委員) ▼浅野吉郎(同)
- 【受講者】
 ▼島田幸男(千葉建設) ▼古川雅規(同古川コンクリート工業所) ▼古川雄司(同) ▼椎津昇(同三瀧コンクリート工業) ▼上條仁(同) ▼石井精一郎(同) ▼多田純也(北村コンクリート工業) ▼柏熊喜紀(同) ▼吉田徹(平野コンクリート工業) ▼鶴岡俊孝(株テラコン) ▼今川哲政(三洋コンクリート工業) ▼日色健二(小川建材工業) ▼伊藤賢(日新コンクリート工業) ▼伊藤裕介(同) ▼松丸英晴(時田コンクリート工業) ▼斎藤一紀(同) ▼菊池勲(吉岡コンクリート工業) ▼清水広司(同)